

記事を読んで問いに答えなさい。



JA静岡市の品評会。県産イチゴは昨年に次ぐ高単価を維持した＝1月下旬、静岡市駿河区

県産イチゴ 高単価

19年も維持、取扱量は減少

2019年シーズンの県内のイチゴ生産が、JA静岡経済連がまとめた販売実績（5月中旬）によると、1当りの平均単価は前年の1370円。台風上となるのは3年連続。一方、取扱量は夏に供給が減少し、記録が残る1975年害などで、5%減の471トと平年よりやや少なかった。経済連によると、全国的な作付面積や生産者の減少で、市場に出回るイチゴは減少傾向。県内は夏場の天候不順で苗の生育が遅れた上、10月の台風19号では冠水などの被害を受けた。12月までの取扱量は前年を3割ほど下回ったが、年明け後に徐々に回復した。

経済連によると、新型コロナウイルスの感染拡大で、飲食業などの業務需要は落ち込んだものの、消費者が家庭で過ごす「巣ごもり需要」による消費は堅調だったという。品種別の平均単価は、主力の「紅ほっぺ」が16円安の1362円、全体の1割強の「きらび香」は8円高の1460円。

経済連の担当者は「紅ほっぺ、きらび香の品質と知名度をさらに高め、県産のイチゴを全国に売り込んでいきたい」と話す。

（経済部・牧野めぐみ）

2020年6月3日
朝刊

- 県産イチゴの「供給」が減少している理由を挙げなさい。
[]
- 県産イチゴの「需要」はどのような状況にあるのか書きなさい。
[]
- 県産イチゴが「高単価」である理由を「需要」と「供給」の関係から簡潔に説明しなさい。
[]
- 県産イチゴの知名度を高めるためのアイデアを30字以内で書きなさい（句読点を含む）。

年 組 名前

記事を読んで問いに答えなさい。

解答例

県産イチゴの出荷量と平均単価の推移 (JA静岡経済連抜粋)

年	取扱量 (箱)	1kg当たりの平均単価 (円)
2015	4800	4800
2016	4900	4900
2017	5000	5000
2018	5100	5100
2019	5000	5000

※19年度は5月中旬現在

県産イチゴ 高単価 19年も維持、取扱量は減少

2019年シーズンの県内のイチゴ生産がおおむね終了した。JA静岡経済連がまとめた販売実績（5月中旬）によると、1kg当たりの平均単価は前年（14円）より1円高かった。一方で、取扱量は前年（1370箱）より100箱減少した。これは、10月の台風19号による被害を受けたためと見られる。

JA静岡市の品評会。県産イチゴは昨年に次ぐ高単価を維持した。1月下旬、静岡市駿河区

経済連によると、全国的な作付面積や生産者の減少で、市場に出回るイチゴは減少傾向。県内は夏場の天候不順で苗の生育が遅れた上、10月の台風19号では冠水などの被害を受けた。12月までの取扱量は前年を3割ほど下回ったが、年明け後に徐々に回復した。

経済連によると、新型コロナウイルスの感染拡大で、飲食業などの業務需要は落ち込んだものの、消費者が家庭で過ごす「巣ごもり需要」による消費は堅調だったという。品種別の平均単価は、主力の「紅ほっぺ」が16円安の1362円、全体の1割強の「きらび香」は8円高の1460円。

経済連の担当者は「紅ほっぺ、きらび香の品質と知名度をさらに高め、県産のイチゴを全国に売り込んでいきたい」と話す。

（静岡市 牧野めぐみ）

2020年6月3日
朝刊

① 県産イチゴの「供給」が減少している理由を挙げなさい。

【(例) 夏の猛暑や天候不順、台風被害(冠水)、(作付面積や生産者の減少) など】

② 県産イチゴの「需要」はどのような状況にあるのか書きなさい。

【(例) 飲食業などの業務需要は落ち込んだが、家庭での(巣ごもり)需要は堅調であった。】

③ 県産イチゴが「高単価」である理由を「需要」と「供給」の関係から簡潔に説明しなさい。

【(例) 「需要」は堅調であったが、「供給」が減少したため、「高単価」になっている。】

④ 県産イチゴの知名度を高めるためのアイデアを30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) 試食した消費者の評判をメディアを通じて発信する。(24字)

品種ごとのおいしさ比較をインターネットで紹介する。(25字) など

年 組 名前